

説教

「**主の御声に聞き従え!**」

辻 幸宏牧師

礼拝に出席する

- ・健康を整え、時間を割き、準備する
- ・イスラエルの人々も同様
- ・主は「あなたたちは本当に主なる神を礼拝しているか?」と問うている

主なる神を礼拝するとは

- ① 神殿礼拝
- ② 生贄を献げる
- ③ 安息日厳守

が求められる

主なる神を礼拝するとは

- ① 神殿礼拝
主なる神の御前に遜ること
- ② 生贄を献げる
神による罪の贖いに感謝すること
- ③ 安息日厳守
安息日が与えられた喜びに満たされること

主なる神との

関係を顧みること

その上で

- ・神の啓示である御言葉に聴くこと
- 歩むべき道と行いを正すこと
- ・神の愛の言葉・十戒

イスラエルの礼拝

- ・「主の神殿、主の神殿、主の神殿」
- ・「神殿で礼拝さえしていれば良い」のか?
- ・形だけで、中身が伴わなければ、神が不在となる

その結果

- 御言葉に聴かなくなる
- 神礼拝の本質が失われる
- ・主なる神への畏れがなくなる

主イエスの時代

- ・安息日厳守 → 人を裁く道具
- ・ルカ福音書6:1~5
「人の子は安息日の主である」
- ・十戒は、神の愛の言葉
安息日でも空腹を満たすことは許される

十戒の第四戒

- ・「安息日を心に留め、これを聖別せよ」
(出エジプト20:8)
- ・安息日(主の日)の朝
感謝と喜び・出席できなくても
- ・「日曜日だから」機械的な判断はダメ!

寄留の外国人・孤児・寡婦

- ・集合体ではいけない
- ・名前を挙げ、一人ひとりを見よう
- ・具体的な苦しみを確認しよう

そのためには……

- ・「平和」はゴールだが、抽象的
- ・隣人:共に生きる家族・友人・教会員に心を向けること
- ・日頃の交わり、声を聞くことが大切
- 社会における平和を築く第一歩

隣人愛に具体性がないと……

- ・「盗み、殺し、姦淫、……」
- 隣人の痛みを理解できない

御言葉に聞き従わない

- ・主なる神が不在
- ・形を整えることを行う
- ・自己中心・罪に抵抗感がない
- 主なる神による裁き

主の御言葉に聴くこと

- ・主なる神を知る
- ・主の御前に遜りと罪の赦しの感謝
- ・隣人の苦しみを知り、寄り添う

わたしが命じる道、幸いを得る

- ・恵みの契約(創世記12:1~3、15:5~6)
- ・恵みの契約は、イスラエルに、そして私たちに受け継がれている
- ・罪を悔い改め、主を信じるとき
主は救いへと向かい入れて下さる

主イエス

- ・「わたしは道であり……」(ヨハネ14:6~7)
- ・十字架:罪の贖い、救いの完成
- ・主イエスを信じ、御言葉に聴く者に、
神の国の祝福は約束されている